



# 町の財政状況をお知らせします

町では、皆さんが納めた税金がどのように使われているのか、町の財政はどのような状態にあるかを、毎年お知らせしています。一般会計を中心に「平成 29 年度決算」と「平成 30 年度予算の上半期執行状況」は次のとおりです。

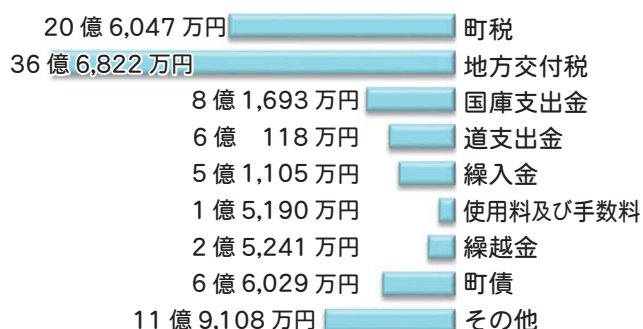
当別町では、これからも町民の目線に立った行政サービスに努め、健全な町財政を運営していきます。

## 平成 29 年度 各会計収支決算状況

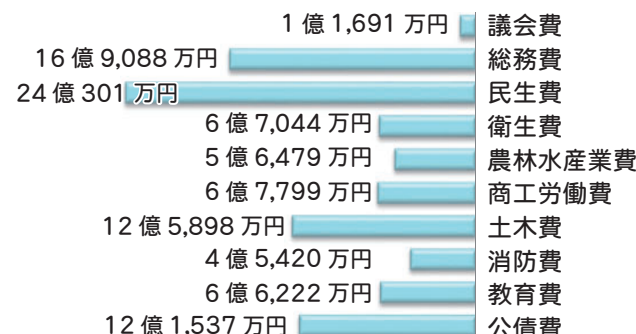
### 一般会計

一般会計の平成 29 年度決算は、99 億 1,353 万円の歳入に対し、97 億 1,479 万円の歳出となり、実質収支額は 1 億 9,874 万円の黒字となりました。  
※金額はすべて、千の位を四捨五入して掲載します（以下同様）。

▶ 歳入 99 億 1,353 万円



▶ 歳出 97 億 1,479 万円



町税	町民税、固定資産税など
地方交付税	国から交付される依存財源
国庫支出金	国からの補助金など
道支出金	道からの補助金など
繰入金	基金（貯金）からの補足分
使用料及び手数料	施設使用料等の実費負担分
繰越金	前年度予算の残額
町債	町の借り入れ
その他	寄附金など

議会費	議会の運営費など
総務費	庁舎管理など
民生費	福祉経費や保育所運営費など
衛生費	ごみ処理、保健衛生事業など
農林水産業費	農地、山林、農道等の整備
商工労働費	商工業、観光事業など
土木費	道路整備や維持管理、除雪など
消防費	消防活動、救急救命など
教育費	学校維持管理、社会教育事業など
公債費	町債（借金）の返済

歳入の構成については、国から交付される地方交付税の占める比率が 37.0% と最も高く、次いで町税 20.8%、国庫支出金 8.2% と続き、これらで 66.0% を占めています。

皆さんが納入している町税のうち、町民税は 45.6% (9 億 4,008 万円)、固定資産税は 43.4% (8 億 9,303 万円) で、合計で町税全体の 89.0% となりました。

歳出の構成については、民生費の占める比率が 24.7% と最も高く、次いで総務費 17.4%、土木費 13.0% となっています。

平成 29 年度に取り組んだ主要事業は右ページのとおりですが、一方で、当別町道の駅整備事業における年次割合による事業費の減少等により、歳出総額は前年度より減少となりました。

## 平成 29 年度に取り組んだ主要事業

※主要事業の予算科目、事業名、事業費総額などをお知らせします。

### ▶ 歳入

#### ■【寄附金】当別町ふるさと納税 4 億 6,479 万円

ふるさと納税による寄附は、左ページの棒グラフでは「その他」に計上されています。歳入実績は 31,199 件で 4 億 6,479 万円、この金額は道内市町村の中で 13 位となりました。ふるさと納税を活用して行った主要な事業は、右のとおりです。

#### ・ふるさと納税推進事業 2 億 5,298 万円

寄附者へ町の特産品を贈呈することで、町の PR につなげました。また、プロモーション活動を行い、寄附者の増加を図りました。

#### ・当別町道の駅整備事業・地域商社推進事業 1 億 3,910 万円〈歳出に再掲含む〉

平成 29 年 9 月「北欧の風 道の駅とうべつ」への開業に向けて、道の駅の建設工事や備品の購入、地域商社として経済活動の推進などを行っていました。

### ▶ 歳出

#### ■【総務費】防災資機材等備蓄事業 316 万円

大規模災害に備え、避難者の応急対応分の防災備蓄品（非常食、飲料水、毛布等の生活必需品）と応急対応活動に必要な備品を整備することで、住民の安全、安心を確保し、防災体制の強化を図りました。



#### ■【農林水産業費】当別町農業 10 年ビジョン 確立加速化事業 229 万円

野菜の新規導入および拡大に向け、ビニールハウスの設置に係る経費を補助することにより、直売所向けの施設野菜の生産体制の強化につなげました。

- ・補助対象棟数  
14 戸 23 棟



#### ■【総務費】当別町地域間交流拠点施設 指定管理事業 4,099 万円

「北欧の風 道の駅とうべつ」の管理運営を、指定管理者制度により株式会社 to be に委託し、適切な管理運営を行いました。

#### ■【総務費】地域商社推進事業 3,300 万円

道の駅の管理運営主体をはじめ、地域商社の役割を担い地域経済活動の活発化を目的として設立した株式会社 to be による特産品の改良開発・販路開拓・観光客の周遊促進に関する各種事業を、地方創生推進交付金を活用して行いました。



#### ■【消防費】小型動力ポンプ付積載車整備 事業 887 万円

消防署に配備されている小型動力ポンプ付積載車の更新を図ることにより、野火、林野火災の出動を始めとし、水難救助時のポートトレーラーの牽引、冬期間の水利施設の除排雪等多用途にわたる各種災害時の出動に対し、速やかに対応することが可能となりました。



#### ■【教育費】小中一貫教育推進講師配置 事業 692 万円

一貫教育推進講師が小学校および中学校を行き来し、児童生徒に直接指導することで、学力の向上を図りました。また、学校内に小中一貫教育掲示板を設置するなど、教職員間などの情報共有と意識啓発を図りました。



## 町の財政状況をお知らせします

### 特別会計

国民健康保険特別会計など5つの特別会計の決算状況は、次のとおりです。

(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	25億567	24億6,306	4,261
下水道事業	9億508	8億9,559	949
介護保険	14億9,598	14億6,495	3,103
介護サービス事業	6,527	6,524	3
後期高齢者医療	2億2,148	2億1,724	424

### 水道事業会計

水道事業会計の決算状況は次のとおりで、水道水が安定供給できるよう、健全に運営しています。

(単位：万円)

区分	収入	支出
収益的収支	6億8,970	6億5,229
資本的収支	3,451	1億5,439

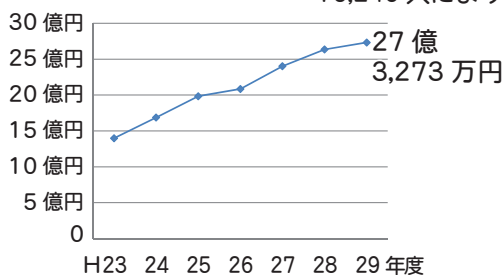
- ・ **収益的収支**とは、水道水をつくり、家庭などに送り届けるために必要な支出と、その財源となる収入のこと。
- ・ **資本的収支**とは、水道施設を更新・整備するために必要な支出と、その財源となる収入のこと。

## 基金と町債の状況

### ☆ 基金残高の推移

平成29年度末の基金（町の貯金）の残高は、27億3,273万円であり、町民一人あたりにすると16万8,271円となります。

※平成29年度末の人口  
16,240人により算出

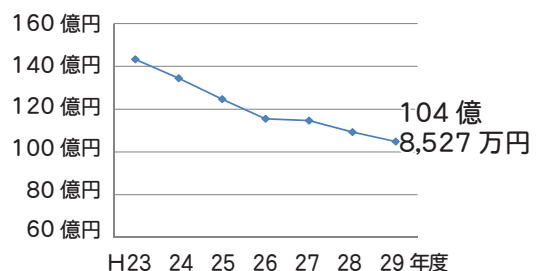


**基金とは** 将来の多額の出費等に備え、あらかじめ用意しておくお金です。

基金には、「財政調整基金」という必要な時に使える貯金と「特定目的基金」という決められた目的のためだけに使える貯金などがあります。

### ☆ 町債務残高の推移

平成29年度末の町債（町の借金）の残高は、104億8,527万円であり、町民一人あたりにすると64万5,645円となります。



**町債とは** 公園、道路、公共施設の整備のように臨時的に多額の費用が必要となるときに、町が国や銀行などから借り入れる資金です。

借金という悪いイメージですが、借入して整備した公共施設などは将来の町民も利用しますので、今いる町民だけでなく将来の町民にも公平に負担してもらうために借入します。

## 平成29年度末現在の財政状況

### ☆ 財政健全化法に基づく健全化判断比率

自治体の財政状況が健全かどうかを判断する指標として、「健全化判断比率」があります。平成29年度決算に基づく当別町の健全化判断比率は、次ページのとおりです。

いずれの指標についても、早期健全化基準を下回っていますが、実質公債費比率および将来負担比率は高い比率であり、安定した財政運営を維持するために、引き続き財政の健全化に向けた取り組みを行います。

	実質赤字比率 一般会計の単年度内の赤字の比率	連結実質赤字比率 すべての会計の単年度内の赤字の比率	実質公債費比率 自治体の借金返済に係る比率	将来負担比率 自治体の将来負担すべき負債に係る比率
当別町の比率 (備考)	— 1億9,874万円の黒字額のため該当なし	— 5億3,863万円の黒字額のため該当なし	12.4% 全道ワースト25位 (前年度はワースト16位)	94.5% 全道ワースト19位 (前年度はワースト16位)
早期健全化基準 (当別町の基準)	14.36%	19.36%	25.0%	350.0%
財政再生基準 (当別町の基準)	20.00%	30.00%	35.0%	—

## ☆ 当別町財政運営計画の状況

本町は平成26年度より「第2期当別町財政運営計画」に基づき財政健全化に取り組んでおり、国が定めた4つの健全化判断比率による早期健全化団体には該当していませんが、そのうち実質公債費比率と将来負担比率が道内市町村の中でも高く、今後も継続して財政の健全化を進める必要があります。平成29年度決算の状況と計画で定めた目標値は、右のとおりです。

	平成29年度	平成30年度 (目標値)
実質公債費比率	12.4%	12%以下
将来負担比率	94.5%	125%以下
地方債残高	105億円	110億円以下
財政調整基金残高	7.1億円	7億円超

## 平成30年度 予算の上半期執行状況

平成30年度予算、各会計の上半期執行状況(9月末現在)は次のとおりです。

一般会計については、当初予算額92億4,905万円に対し、必要最低限かつ優先度・緊急度に配慮した上で2度の補正を行い、9月末現在の総額は93億3,697万円(①-②)となっています。

### ■ 一般会計

(単位：万円)

会計名	予算額	収入済額(収入率)	支出済額(支出率)
一般会計	93億5,901 ①	46億3,213 (49.5%)	38億8,699 (41.5%)
うち平成29年度繰越明許費	2,204 ②	2,212 (100.4%)	2,185 (99.1%)

※①一般会計の予算額には、上半期における補正額と②繰越明許費(前年度から繰り越して使用することができる経費)を含んでいます。

### ■ 特別会計

(単位：万円)

会計名	予算額	収入済額(収入率)	支出済額(支出率)
国民健康保険	20億7,298	8億5,694 (41.3%)	8億1,691 (39.4%)
下水道事業	8億9,124	3億5,772 (40.1%)	2億7,674 (31.1%)
介護保険	15億1,695	7億2,009 (47.5%)	6億4,282 (42.4%)
介護サービス事業	6,838	2,040 (29.8%)	3,575 (52.3%)
後期高齢者医療	2億3,821	7,761 (32.6%)	7,218 (30.3%)

※特別会計では、収入と支出の時期の違いにより、収入が一時的に不足している会計については、会計間で一時的な運用がされています。

### ■ 水道事業会計

(単位：万円)

区分	予算額	収入済額(収入率)	支出済額(支出率)
収益的収入	6億9,102	3億3,262 (48.1%)	—
収益的支出	6億4,177	—	1億2,864 (20.0%)
資本的収入	1億4,707	0 (0.0%)	—
資本的支出	2億9,241	—	6,268 (21.4%)

### 財政状況はホームページでも公表しています

町では毎年2回、収入及び支出の概況や住民負担の状況などを説明した「財政事情説明書」を公表しています。公表期間は11月1日から1年間。

#### ■ 町ホームページ

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

#### ■ 問合せ 財政課財政係 (☎23-2331)